放射性同位元素使用実験計画書記入上の注意

弘前大学アイソトープ総合実験室

 放射性同位元素使用実験計画書を記入する際は以下の要領で記入してください。不明の点はアイソトープ総合実験室（内線５１５１）までお問い合わせください。また、放射性同位元素使用実験計画書が承認された場合、承認年月日及び承認番号を記載の上、提出者に写しを交付いたしますので大切に保管してください。

1. 「日付」は提出日を記入してください。
2. 「実験責任者」は原則として教員としてください。
3. 実験計画が新規のものか継続のものかは必ず該当を囲んだ上、継続の実験計画の場　　合は前年度の承認番号を記入してください。
4. 「使用者の所属・身分及び氏名」は実験をする予定のある人を記入してください。使用者が複数の場合は全員の氏名を記入し、主に実験をする人に〇印を付けてください。
5. 「標識化合物名」はその名前を記入してください。無機化合物の場合は化学式でも良い。
6. 「購入単位」は実際購入予定の数量を記入してください。
7. 「１日の使用量」は１日に使用すると思われる最大量を記入してください。
8. 「週毎の使用時間」は密封線源を使用する場合のみ記入してください。Co-57は最大168時間、Cs-137は最大40時間までです。
9. 「使用期間」は最大で当年度末までとしてください。未定の場合も当年度末までとしてください。
10. 「使用の場所」はアイソトープ総合実験室以外の場所を使用する場合のみ、追加して記入してください。
11. 「使用目的」は実験の目的を記入してください。
12. 「使用方法」は具体的な方法を記入してください。
13. 「実験の種類」は該当する場合に記入してください。毒劇物を含むRI廃棄物は、廃棄業者に引き渡すことが出来ない場合があります。毒劇物の廃棄方法（廃棄物の状態や無害化の方法など）について「操作手順」に記入してください。
14. 「操作手順」は実験の具体的な手順を記入してください。
15. 「実験の安全性」については、核種に応じて適切なしゃへいを行うことや、ゴム手袋やバットの使用、高濃度のRI使用時はドラフトチャンバーを使用する等の汚染拡大防止策など、安全性を確保するためにどの様に実験を行うかを記入してください。
16. 「実験室内使用機器」は該当機器に○印を付し、実験者持ち込み機器がある場合はその機器名を記入してください。

令和６年２月